

会員の声

QTEC試験検査機関のご紹介

(一財)日本繊維製品品質技術センター(キューテック) 高橋 邦彦

日頃は会員の皆様方に大変お世話になり厚く御礼申し上げます。私共 QTEC は衣服から産業資材に至る繊維製品について、幅広く試験、検査並びに技術指導を行うことで品質の向上を支援し、社会の発展に貢献する第三者試験検査機関です。東京試験センター（東京都港区芝浦 3-13-16 : TEL03-5439-8025）では独自に産業資材チームを設置し、一般の材料試験実施は勿論のこと、官公庁等の監督官立会のもと納入前の材料性能確認検査を行う試験所として広くご利用頂いており、過去数多くの試験検査実績を有しております。

例えば、盛土補強材に用いられるグリッドやウェブの引張強さ試験では、定期的に ISO 校正が行われた 200～300kN クラスの引張試験機を 3 機備え、被検体に適したキャップスタン型つかみ具を選択することで、精度や信頼性の高い測定結果をご提供することができます。

また、10kN、5kN 用の油圧チャックやエアチャック、各種アタッチメントを備えており、シルトフェンスや吸出防止材、遮水シートなど様々な材料について、引張強さや伸度、引裂強さ、貫入抵抗などの様々な物理特性を測定することができます。

水理特性においては、ISO に準拠して動水勾配を考慮した垂直方向の透水性や面内方向の通水性を測定することができる他、フェルトなど材料によっては、簡易的に拘束圧をかけながら垂直方向の透水性を評価することも可能です。

耐候性試験では WS 型サンシャインウェザー促進暴露試験機を 5 機備えており、1000 時間～2000 時間超といった長時間の紫外線曝露のご要望に対しても、試験条件を考慮しながら QR 対応に心掛けております。特に耐候性大型土のうの性能評価試験においては、(一財) 土木研究センター様から実施検査機関として承認されており、認定材料試験に要求される全項目を一括して当試験センターで測定することが可能です。ジオシンセティックスのほかには、コロナ禍で需要が高まっている防護服についても、ISO 微粒子エアロゾル漏れ率試験や ASTM 血液バリア性やウイルスバリア性試験などの性能確認試験を実施しております。更に (一財) 製品安全協会様から「SG マークキャンプ用テント」の委託試験機関に認定され、SG マークの普及にも努めています。

最後に、JIS や ISO 等に試験基準がない特殊な試験につきましても、試験機に取り付けるアタッチメントやサンプリングを工夫する等して、ご依頼者様と相談しながら試験実施を支援していきたいと思っておりますので、今後ともご利用頂けます様よろしくお願い申し上げます。



写真 防護服の微粒子エアロゾル漏れ率試験